

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあざかり厚くお礼申し上げます。さて、「DC米国連続増配成長株オープン」は、このたび、第9期の決算を行いました。

当ファンドは、米国連続増配成長株マザーファンドを通じて、長期にわたる米国の連続増配銘柄および米国の経済環境や社会構造の変化をとらえることで高い成長が期待できる銘柄に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第9期末(2025年9月26日)

基 準 価 額	35,946円
純 資 産 総 額	156百万円
第9期	
騰 落 率	17.5%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 謄落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

DC米国連続増配成長株オープン 確定拠出年金専用

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2024年9月27日～2025年9月26日

交付運用報告書

第9期(決算日2025年9月26日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年9月27日～2025年9月26日)



期 首：30,596円

期 末：35,946円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 17.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 参考指数は、S&P 500 指数（円換算後）です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しております。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指標として記載しているものです。（以下同じ。）

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2024年9月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「米国連続増配成長株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- 好調な業績を発表した半導体・半導体製造装置株や素材株が上昇したことがプラスに寄与しました。
- 個別銘柄では、MPマテリアルズやクレド・テクノロジー・グループ・ホールディング、クラウドフレアなどの上昇がプラスに寄与しました。
- 為替市場で米ドルが円に対して上昇（円安）したことがプラスに影響しました。

(主なマイナス要因)

- ・耐久消費財・アパレル株や医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株が下落したことがマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、レックスサイトやディスカバー・ファイナンシャル・サービスズ、プロセプト・バイオロボティクスなどの下落がマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2024年9月27日～2025年9月26日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 447	% 1.364	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(216)	(0.660)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(216)	(0.660)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(14)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	20	0.062	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(20)	(0.062)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(d) その他の費用	9	0.026	(d) その他費用＝期中のその他費用：期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(4)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	476	1.453	
期中の平均基準価額は、32,749円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

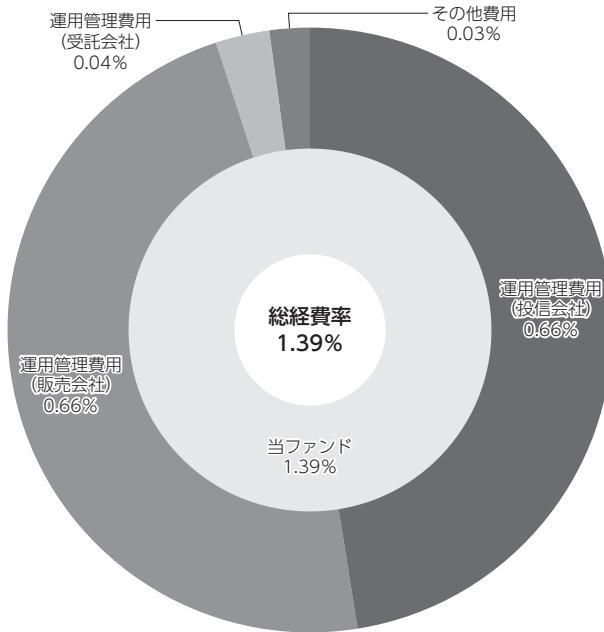
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年9月28日～2025年9月26日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) S&P 500指数（円換算後）は当ファンドの参考指数です。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年9月28日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年9月28日 期初	2021年9月27日 決算日	2022年9月26日 決算日	2023年9月26日 決算日	2024年9月26日 決算日	2025年9月26日 決算日
基準価額 (円)	15,634	22,534	22,916	25,355	30,596	35,946
期間分配金合計（税引前） (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	44.1	1.7	10.6	20.7	17.5
S&P 500指数(円換算後)騰落率 (%)	—	42.0	7.8	21.5	28.1	19.6
純資産総額 (百万円)	29	40	62	98	125	156

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2024年9月27日～2025年9月26日)

米国株式市場は、2024年末にかけては堅調な企業業績や米連邦準備制度理事会（F R B）の利下げを背景に上昇しましたが、2025年に入ると、利下げ期待の後退やトランプ大統領による関税政策への警戒感に加え、消費者信頼感指数などの経済指標が低調となり、景気減速懸念から下落しました。4月にはインフレ高止まり観測と追加関税発表を受けて大きく下落した後、企業業績の底堅さや貿易交渉の進展を背景に持ち直し、過去最高値を更新しました。8月には再び関税政策や景気懸念で調整しましたが、その後は雇用環境の鈍化を受けてF R Bの利下げ観測が強まり、株式市場は上昇基調となりました。

為替市場では2025年1月中旬以降、日米金利差の縮小を背景に円高に転じました。F R Bの利下げ観測の後ずれから一時的に米ドルが反発しましたが、4月には米金利低下や関税リスクを背景に急速に米ドル安・円高となりました。その後は米経済指標の底堅さや日本企業による対外投資の継続などを背景に、緩やかな米ドル高・円安の動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年9月27日～2025年9月26日)

<DC米国連続増配成長株オープン>

「米国連続増配成長株マザーファンド」の受益証券の組入比率は、高位を維持しました。

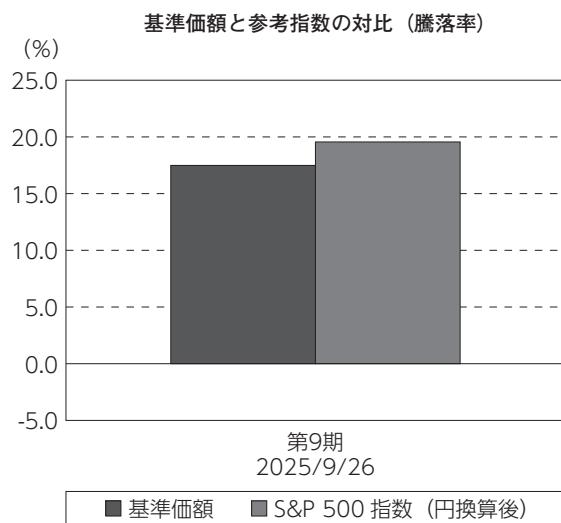
○米国連続増配成長株マザーファンド

運用状況につきましては、中長期的に高い成長が期待できるソフトウェア・サービス株や医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株を高位にウェイト付けしました。また、キャッシュフロー創出力が高く、連続増配が可能と判断される公益事業株や金融サービス株のウェイトも高位を維持しました。期中の投資行動としては、資本財株や食品・飲料・タバコ株などの買付けを行い、ウェイトを引き上げました。一方、家庭用品・パーソナル用品株や保険株などを売却し、ウェイトを引き下げました。なお、組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年9月27日～2025年9月26日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S&P 500 指数（円換算後）です。

分配金

(2024年9月27日～2025年9月26日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第9期	
	2024年9月27日～ 2025年9月26日	
当期分配金 (対基準価額比率)	—	— %
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	25,946	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

今後の米国株式市場は、当面は高値圏で一進一退の展開が続くと予想されます。F R Bによる金融緩和策やA I（人工知能）関連を中心とした投資拡大、企業業績の底堅さが株価の下支え要因となる一方、雇用や消費の鈍化、製造業の低迷による景気減速懸念や、追加関税の対象や時期が不透明なことから企業のサプライチェーンやコスト構造に対する不安が残るなど、上値は徐々に重くなると考えられます。

(運用方針)

＜D C米国連続増配成長株オープン＞

米国連続増配成長株マザーファンドを通じて、長期にわたる米国の連続増配銘柄および米国の経済環境や社会構造の変化をとらえることで高い成長が期待できる銘柄に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。米国連続増配成長株マザーファンドの受益証券組入れは高位に維持する方針です。

○米国連続増配成長株マザーファンド

りそなアセットマネジメント株式会社からの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。ソフトウェア・サービス株など、成長シナリオが強固な銘柄を選別して投資します。また、業績の安定性が相対的に高く、長期的に増配を維持できることが見込まれる資本財株や公益事業株などを高位にウェイト付けします。株式組入比率については、引き続き高位を維持する方針です。

お知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日:2025年4月1日)

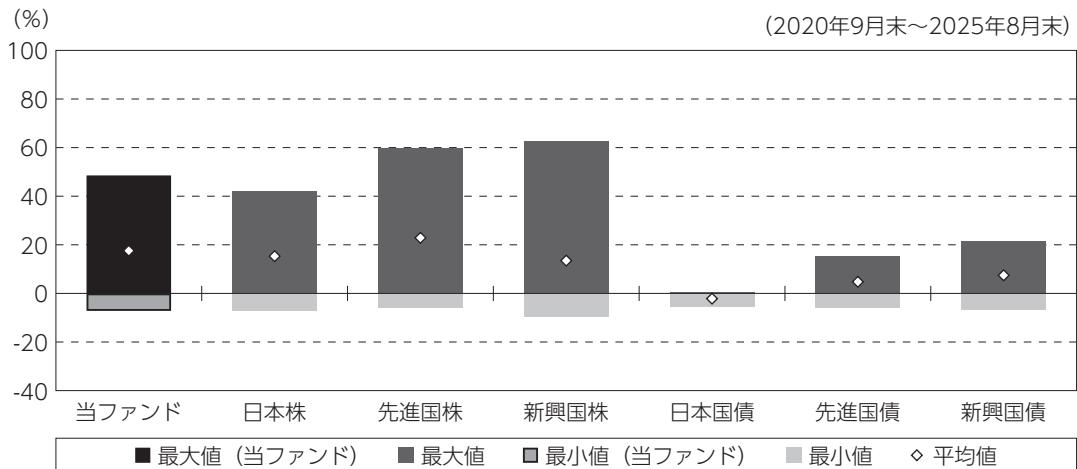
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2016年9月30日から原則として無期限です。	
運用方針	米国連続増配成長株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、長期にわたる米国の連続増配銘柄および米国の経済環境や社会構造の変化をとらえることで高い成長が期待できる銘柄に投資します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当 フ ァ ン ド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	米国連続増配成長株 マザーファンド	米国の取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当 フ ァ ン ド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	米国連続増配成長株 マザーファンド	ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析を行い、各銘柄の流動性および市況動向等を勘案して行います。 銘柄選択に関しては、アセットマネジメント株式会社から投資助言を受けます。
分配方針	毎年9月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配金は、決算日の基準価額で再投資します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年9月から2025年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指標》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指標についての説明は、後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について>をご参照ください。

(注) 海外の指標は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

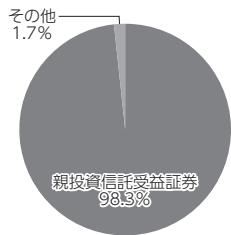
組入資産の内容

(2025年9月26日現在)

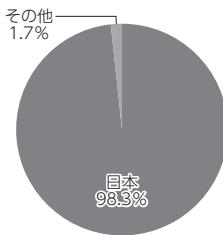
○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末 %
米国連続増配成長株マザーファンド	98.3
組入銘柄数	1銘柄

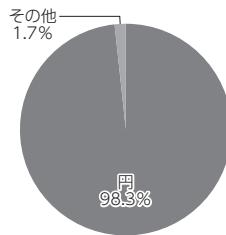
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

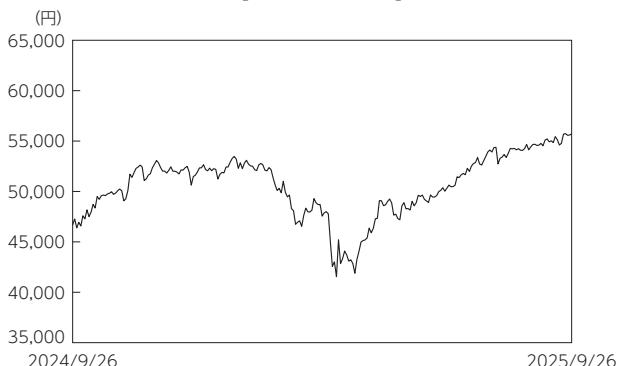
項目	第9期末
	2025年9月26日
純資産総額	156,306,002円
受益権総口数	43,483,459口
1万口当たり基準価額	35,946円

(注) 期中における追加設定元本額は16,739,953円、同解約元本額は14,300,117円です。

組入上位ファンドの概要

米国連続増配成長株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年9月27日～2025年9月26日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	32 (32)	0.063 (0.063)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.001 (0.001)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (7) (0)	0.013 (0.013) (0.000)
合 計	40	0.077

期中の平均基準価額は、50,336円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

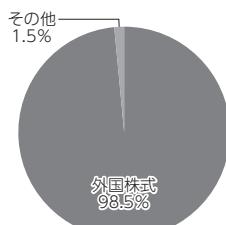
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

【組入上位10銘柄】

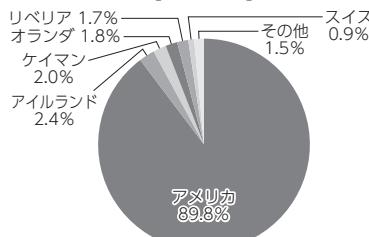
(2025年9月26日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	MP MATERIALS CORP	素材	米ドル	アメリカ	2.4
2	CREDO TECHNOLOGY GROUP HOLDI	半導体・半導体製造装置	米ドル	ケイマン	2.0
3	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	1.8
4	ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	消費者サービス	米ドル	リベリア	1.7
5	MASTEC INC	資本財	米ドル	アメリカ	1.6
6	AMPHENOL CORP-CL A	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	1.5
7	BWX TECHNOLOGIES INC	資本財	米ドル	アメリカ	1.5
8	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	1.4
9	CLOUDFLARE INC - CLASS A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	1.4
10	INSULET CORP	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	1.4
組入銘柄数			117銘柄		

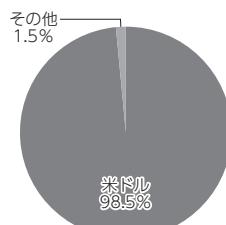
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について＞

騰落率は、データソースが提供する各指標をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関する資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指標です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指標です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指標です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。